



NEC Expressサーバ
Express5800シリーズ

N8100-968/969

Express5800/180Rd-4

ユーザーズガイド

2004年 4月 初版

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるように、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

使用上のご注意 - 必ずお読みください -

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全にかかわる表示について

Express5800シリーズを安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。

このユーザーズガイドには装置のどこが危険か、どのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズガイドおよび警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



警告







人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。





注意

火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (分解禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜け)

(ユーザーズガイドでの表示例)

注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
	指定以外のコンセントに差し込まない	注意
	指定の電圧で指定のコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。	

本書および警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		レーザー光による失明のおそれがあることを示します。
	指などがはさまれるおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。		本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
---	-------------------	---	--------------------------------------

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
---	--	---	--

色分けされた部分についての取り扱い注意

本装置の内部の電源をONにしたままの状態の内蔵オプションの取り付け/取り外しができる部分をオレンジ色または、緑色で色分けしています。

これらの色で色分けされた部分以外(特に青色で色分けされている部分)への内蔵オプションの取り付け/取り外しは、必ず装置の電源をOFFにし、すべての電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。

安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については巻頭の『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

全般的な注意事項

警告



人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。



煙や異臭、異音が生じたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。



針金や金属片を差し込まない

通気孔やフロッピーディスクドライブ、DVD-ROMドライブのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。



指定以外の場所で使用しない

本装置はEIA規格に適合した本装置用の19インチラックに取り付けて使用します。本装置を取り付けるラックを設置環境に適していない場所には設置しないでください。

本装置やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでなく、火災やラックの転倒によるけがなどをするおそれがあります。設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付の説明書を参照するか、保守サービス会社にお問い合わせください。



規格以外のラックで使用しない

本装置はEIA規格に適合した本装置用のラックに取り付けて使用します。EIA規格に適合していないラックに取り付けて使用したり、ラックに取り付けずに使用したりしないでください。本装置が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因となることがあります。本装置で使用できるラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。

 **注意**



海外で使用しない

本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。



装置内に水や異物を入れない

装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

ラックの設置・取り扱いに関する注意事項

注意



1人で搬送・設置をしない

ラックの搬送・設置は2人以上で行ってください。ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。特に高さのあるラック(44Uラックなど)はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。かならず2人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。



荷重が集中してしまうような設置はしない

ラックおよび取り付けたデバイスの重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてけがをすることがあります。



1人で部品の取り付けをしない

ラック用のドアやトレーなどの部品は2人以上で取り付けてください。部品を落として破損させるばかりでなく、けがをすることがあります。



ラックが不安定な状態でデバイスをラックから引き出さない

ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態(スタビライザの設置や耐震工事など)で引き出してください。



複数台のデバイスをラックから引き出した状態にしない

複数台のデバイスをラックから引き出すとラックが倒れることがあります。装置は一度に1台ずつ引き出してください。



定格電源を超える配線をしない

やけどや火災、装置の損傷を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。電気設備の設置や配線に関しては、管轄の電力会社にお問い合わせください。

電源・電源コードに関する注意事項



ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



指定以外のコンセントに差し込まない

指定の電圧で指定のコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。

また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。



たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。



中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



指定以外の電源コードを使わない

AC100Vで使用される場合と、AC200Vで使用される場合とでは、使用する電源コードが異なります。使用する電圧にあった添付の電源コードを使用してください。異なる仕様の電源コードを使用して定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。

また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードを折曲げない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードを踏まない。
- 電源コードを束ねたまま使わない。
- 電源コードをステーブラ等で固定しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードの上にものを載せない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

注意



2人以下で持ち上げない

本装置の質量は最大で50kgあります。2人以下で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。装置は3人以上で底面をしっかりと持って運んでください。また、フロントベゼルを持って、持ち上げないでください。フロントベゼルが外れて落下し、けがの原因となります。



カバーを外したまま取り付けない

本装置のカバー類を取り外した状態でラックに取り付けしないでください。装置内部の冷却効果を低下させ、誤動作の原因となるばかりでなく、ほこりが入って火災や感電の原因となることがあります。



ハンドルを中途半端に取り付けない

ラックへの取り付け、取り外しの際にハンドルを取り付ける場合は、ラックサポートホイールをしっかりと締めて固定してください。中途半端に取り付けるとハンドルがはずれて装置が落下し、けがをすることがあります。



指定以外の場所に設置しない

本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 不安定な場所。



指を挟まない

ラックへの取り付け・取り外しの際にレールなどで指を挟んだり、切ったりしないよう十分注意してください。



電源プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

インタフェースケーブルの取り付け/取り外しは電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。



指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

警告



自分で分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



DVD-ROMドライブの内部をのぞかない

DVD-ROMドライブはレーザーを使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明のおそれがあります(レーザー光は目に見えません)。



リチウムバッテリーやニッケル水素バッテリーを取り外さない

本装置内部にはリチウムバッテリーが取り付けられています(オプションデバイスの中にはリチウムバッテリーやニッケル水素バッテリーを搭載したものもあります)。バッテリーを取り外さないでください。リチウムバッテリーやニッケル水素バッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。また、バッテリーの寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。



プラグを差し込んだまま取り扱わない

お手入れや本装置内蔵用オプション(ホットスワップ可能なデバイスを除く)の取り付け/取り外し、装置内ケーブルの取り付け/取り外しは、本装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントからすべて抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま装置内の部品に触ると感電するおそれがあります。

また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

注意



高温注意

本装置の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクドライブなどをはじめ装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。



中途半端に取り付けない

電源ケーブルやインタフェースケーブル、ボードは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。



コネクタカバーを取り付けずに使用しない







内蔵のハードディスクドライブをディスクアレイ構成にするためのSCSIケーブルのコネクタにはコネクタカバーが取り付けられています。使用しないコネクタにはコネクタカバーを取り付けておいてください。コネクタカバーを取り付けずに使用すると、コネクタが内部の部品に接触してショートし、故障や感電の原因となります。



感電注意

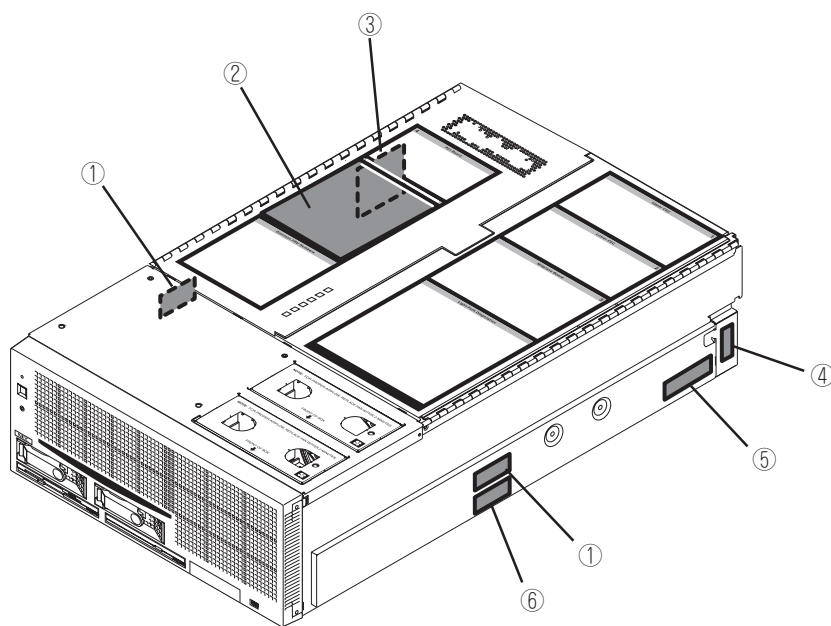
本装置のPCIバスと冷却ファン、ハードディスクドライブ、電源ユニットはホットスワップに対応しています。通電中に部品の交換をする際は、内部の部品の端子部分などに触れて感電しないよう十分注意してください。

運用中の注意事項

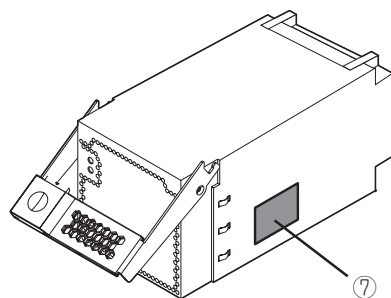
 注意	
	<p>雷がなったら触らない</p> <p>雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントからすべて抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。</p>
	<p>ペットを近づけない</p> <p>本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。</p>
	<p>装置の上にものを載せない</p> <p>本装置が倒れて周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。</p>
	<p>近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使わない</p> <p>本装置のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。</p>
	<p>自分でFANを取り外さない</p> <p>FANの交換は保守サービス会社に依頼してください。</p>

警告ラベルについて

本装置内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これは本装置を操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できないときは販売店にご連絡ください。



本体



電源ユニット(ユーザーによる取り外しは禁止されています)



本体左側面前部に貼り付けられています



本体左側面後部に貼り付けられています

②

注意 CAUTION

オプションの取付け、取外し時は電源プラグをコンセントから抜き、外部装置と接続しているケーブルを外して下さい。

Disconnect all AC power cords from both system and external peripherals prior to installing/removing options.

電源プラグを抜く 感電注意

ネジは本体内部へ落とさない様、十分ご注意ください。

Do not drop any screws inside the system.

ボード及びオプション機器の接続の際は、必ずユーザーズガイドを参照し、正しく接続して下さい。誤った接続は、故障や火災の原因となります。

Refer to the "User's Guide" when option board or peripherals are installed. Incorrect installations may result in damage to the system and lead to accidents.

指を傷んだり、ぶつけたりしないように注意して下さい。

To avoid the risk of personal injury, be careful when accessing the inside of the system.

指を傷めないよう注意

装置の持ち上げ、移動の際は、装置の底面をしっかりと持ち上げて下さい。

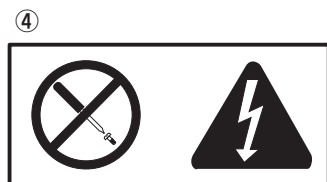
Firmly hold the bottom of the system when required to lift and carry the system.

高温になるコンポーネントがあります。十分に冷えてから触れるようにしてください。

As some components may become very hot during system operation, give ample time to allow cooling as well as use precaution when handling internal components immediately after powering down.

電源を切ってもバッテリーで稼働している部分があります。保守をするまえに各々のコンポーネントの取り扱い説明書をお読みください。

Some internal components may still be operational on battery power. Refer to instruction manuals for this system as well as options prior to maintenance.



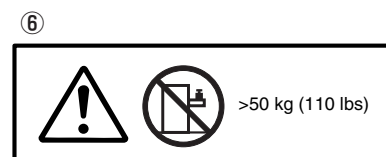
⑤

WARNING

This unit can have more than one power supply cord. To de-energize the internal circuitry, you must disconnect all power supply cords.

1 →

2 →



⑦

注意 CAUTION

感電の危険あり、開くな。
Risk of electric shock. Do not open.

高温注意
This unit may become hot, should not touch without precaution

取り扱い上のご注意 - 装置を正しく動作させるために -

本装置を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると本装置の誤動作や故障の原因となります。

- 本装置が正常に動作できる場所に設置してください。詳しくは2章を参照してください。
- 本装置専用の保守用パーティションがOSから見える場合がありますが、この保守用パーティションを削除しないでください。
- 周辺装置へのケーブルの接続/取り外しは本装置の電源がOFFになっていることを確認し、電源コードをコンセントから外した後に行ってください。
- 電源のOFFやフロッピーディスクの取り出しは、本装置のアクセスランプが消灯しているのを確認してから行ってください。
- 本装置の電源コードをコンセントに接続した後、60秒間は本装置の電源をONにしないでください。
- 本装置のDC電源を一度OFFにした後、再びONにするときは30秒以上経過してからにしてください。
- 本装置の電源ON後、ディスプレイ装置の画面に「NEC」ロゴおよびロゴ下側に何らかの文字が表示されるまでは電源をOFFにしないでください。
- 本装置を移動したり、清掃したりする前に電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 定期的に本装置を清掃してください(清掃は7章で説明しています)。定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。
- 落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として無停電電源装置等を使用することをお勧めします。
- 本装置は、CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクにつきましては、CD再生機器における再生の保証はいたしかねます。
- 次の条件に当てはまる場合は、運用の前にシステム時計の確認・調整をしてください。
 - 装置の輸送後
 - 装置の保管後
 - 装置の動作を保証する環境条件(温度：10℃～35℃・湿度：20%～80%)から外れた条件下で休止状態にした後

システム時計は毎月1回程度の割合で確認してください。また、高い時刻の精度を要求するようなシステムに組み込む場合は、タイムサーバ(NTPサーバ)などを利用して運用することをお勧めします。システム時計を調整しても時間の経過と共に著しい遅れや進みが生じる場合は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社に保守を依頼してください。

- 再度、運用する際、内蔵機器や本体を正しく動作させるためにも室温を保てる場所に保管することをお勧めします。
装置を保管する場合は、保管環境条件(温度：-10℃～55℃、湿度：20%～80%)を守って保管してください(ただし、結露しないこと)。

- 本装置、内蔵型のオプション機器、バックアップ装置にセットするメディア(テープカートリッジ)などは、寒い場所から暖かい場所に急に持ち込むと結露が発生し、そのまま使用すると誤作動や故障の原因となります。保管した大切なデータや資産を守るためにも、使用環境に十分なじませてからお使いください。

参考：冬季(室温と10℃以上の気温差)の結露防止に有効な時間

ディスク装置：約2～3時間

テープ媒体：約1日

- オプションは本装置に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえ本装置に取り付け/接続できても正常に動作しないばかりか、本体が故障することがあります。
- オプションは弊社の純正品をお使いになることをお勧めします。他社製のメモリやハードディスクドライブには本装置に対応したものもありますが、これらの製品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。



ヒント

保守サービスについて

本装置の保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。

本装置をいつまでもよい状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

健康を損なわないためのアドバイス

コンピュータ機器を長時間連続して使用すると、身体の各部に異常が起こることがあります。コンピュータを使用するときは、主に次の点に注意して身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

よい作業姿勢で

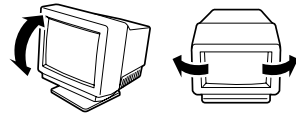
コンピュータを使用するときの基本的な姿勢は、背筋を伸ばして椅子にすわり、キーボードを両手と床がほぼ平行になるような高さに置き、視線が目の高さよりもやや下向きに画面に注がれているという姿勢です。『よい作業姿勢』とはこの基本的な姿勢をとったとき、身体のどの部分にも余分な力が入っていない、つまり緊張している筋肉がもっとも少ない姿勢のことです。

『悪い作業姿勢』、たとえば背中を丸めたかっこうやディスプレイ装置の画面に顔を近づけたままの状態で行うと、疲労の原因や視力低下の原因となることがあります。



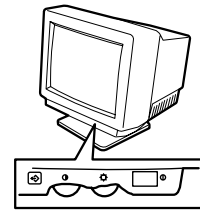
ディスプレイの角度を調節する

ディスプレイの多くは上下、左右の角度調節ができるようになっています。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくしたりするためにディスプレイの角度を調節することは、たいへん重要です。角度調節をせずに見づらい角度のまま作業を行うと『よい作業姿勢』を保てなくなりすぐに疲労してしまいます。ご使用前にディスプレイを見やすいよう角度を調整してください。



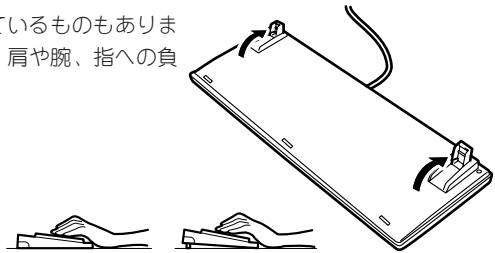
画面の明るさ・コントラストを調節する

ディスプレイは明るさ(ブライトネス)・コントラストを調節できる機能を持っています。年齢や個人差、まわりの明るさなどによって、画面の最適なブライトネス・コントラストは異なりますので、状況に応じて画面を見やすいように調節してください。画面が明るすぎたり、暗すぎたりすると目に悪影響をもたらします。



キーボードの角度を調節する

キーボードには、角度を変えることができるよう設計されているものもあります。入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕、指への負担を軽減するのにたいへん有効です。



機器の清掃をする

機器をきれいに保つことは、美観の面からだけでなく、機能や安全上の観点からも大切です。特にディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると、表示内容が見にくくなりますので定期的に清掃する必要があります。

疲れたら休む

疲れを感じたら手を休め、軽い体操をするなど、気分転換をはかることをお勧めします。



はじめに

このたびは、弊社のExpress5800シリーズをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。Express5800/180Rd-4は、最新のマイクロプロセッサ「Intel® Xeon™ Processor MP」を搭載した高性能サーバです。

弊社の最新テクノロジーとアーキテクチャにより従来のサーバでは実現できなかったハイパワー、ハイスピードが実現します。

「高信頼性」はもちろんのこと、「拡張性」を考慮して設計され、ネットワークサーバとして幅広くご利用いただけることでしょう。

本装置の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解ください。

本書について




本書は、本装置を正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。本装置のセットアップを行うときや日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは、取り扱い上の安全性を含めてご利用ください。

本書は常に本装置のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本書は、Windowsなどのオペレーティングシステムやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザーを対象として記載されています。

本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

 重要	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
 チェック	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

本書の再購入について

印刷された本書が必要な場合は、最寄りの販売店またはお買い求めの販売店に次の型番で申し込んでください。

型番: UL9020-300

また、添付のCD-ROMに収められているオンラインドキュメントの一部は、次のホームページからダウンロードすることができます。

[NEC 8番街] <http://nec8.com/>

本書の構成について

本書は8つの章から構成されています。それぞれの章では次のような説明が記載されています。なお、巻末には索引があります。必要に応じてご活用ください。



「使用上のご注意」をはじめにご覧ください

本編をお読みにする前に必ず本書の巻頭に記載されている「使用上のご注意」をお読みください。「使用上のご注意」では、本装置を安全に、正しくお使いになるために大切な注意事項が記載されています。

第1章 知っておきたいこと

本装置の特長や各部の名称、運用の際の一般的な操作方法、導入時のアドバイスなどについて説明します。

第2章 設置と接続

本装置を取り付けるラックの設置からラックへの取り付け手順まで本装置の電源をONにすることができる状態にするまでの手順について説明します。

第3章 Windows Server 2003のセットアップ

Microsoft Windows Server 2003 Enterprise Edition 日本語版をインストールする手順およびインストール後に行うべき必要最低限のセットアップについて説明します。再インストールの際にも参照してください。

第4章 Windows 2000のセットアップ

Microsoft Windows 2000 Advanced Server 日本語版をインストールする手順およびインストール後に行うべき必要最低限のセットアップについて説明します。再インストールの際にも参照してください。

第5章 システムのコンフィグレーション

I/Oボード上のシステムBIOSやSCSI BIOSの設定を変更するユーティリティの使用方法について説明します。また、リモートスーパーバイザアダプタ II のセットアップについても説明しています。

第6章 EXPRESSBUILDER

本装置に添付のEXPRESSBUILDER CD-ROMの使用方法和EXPRESSBUILDERに格納されているソフトウェアについて説明します。

第7章 メンテナンスとトラブルシューティング

本装置を保守する上で知っておいていただきたい情報が記載されています。また、「故障かな?」と思ったときは、本装置の故障を疑う前に参照してください。

弊社が提供するさまざまなサポート業務やサービス業務についても紹介しています。

第8章 オプション

本装置用のオプションの取り付け・取り外し手順について説明します。

付録A 仕様

本装置の仕様です。

付録B 保守サービス会社網一覧

本装置の保守を依頼するときに参照してください。

付属品の確認

本装置の梱包箱の中には、本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成品一覧表を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



重要

付属品について

- 添付品はセットアップをするときやオプションの増設、本装置が故障したときに必要となりますので大切に保管してください。
- 添付品の「EXPRESSBUILDER」は紙封筒に包装されています。パッケージの構成につきましては、紙封筒内にある「EXPRESSBUILDER」の構成品表を参照してください。また、EXPRESSBUILDER CD-ROMを紛失し、再購入を希望される場合は、販売店へご相談ください。
- オペレーティングシステムに添付のソフトウェア登録カードは、所定事項をご記入の上、必ず投函してください。
- フロッピーディスクが添付されている場合は、フロッピーディスクのバックアップをとってください。また、添付のディスクをマスタディスクとして大切に保管し、バックアップディスクを使用してください。
- 添付のフロッピーディスクまたはCD-ROMは、使用方法を誤るとお客様のシステム環境を変更してしまうおそれがあります。使用についてご不明な点がある場合は、無理な操作をせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

第三者への譲渡について

本体または、本体に添付されているものを第三者に譲渡（または売却）するときは、次の注意を守ってください。

● 本体について

本装置を第三者へ譲渡（または売却）する場合には、本書を一緒にお渡しください。



ハードディスクドライブ内のデータについて

譲渡する装置内に搭載されているハードディスクドライブに保存されている大切なデータ（例えば顧客情報や企業の経理情報など）が第三者へ漏洩することのないようお客様
の責任において確実に処分してください。

Windowsの「ゴミ箱を空にする」操作やオペレーティングシステムの「フォーマット」コマンドでは見た目は消去されたように見えますが、実際のデータはハードディスクドライブに書き込まれたままの状態にあります。完全に消去されていないデータは、特殊なソフトウェアにより復元され、予期せぬ用途に転用されるおそれがあります。

このようなトラブルを回避するために市販の消去用ソフトウェア（有償）またはサービス（有償）を利用し、確実にデータを処分することを強くお勧めします。データの消去についての詳細は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

なお、データの処分をしないまま、譲渡（または売却）し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

● 添付のソフトウェアについて

本装置に添付のソフトウェアを第三者に譲渡（売却）する場合には、以下の条件を満たす必要があります。

- 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと
- 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、インストールした装置から削除した後、譲渡すること

消耗品について

本装置の部品の中には、寿命により交換が必要なものがあります（冷却ファン、内蔵DVD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブ、マウスなど）。装置を安定して稼働させるために、これらの部品を定期的に交換することをお勧めします。交換や寿命については、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

装置の廃棄について

本装置およびハードディスクドライブ、フロッピーディスク、DVD-ROMやオプションのボードなどの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。



- 本装置のI/Oボード上にあるバッテリー、およびバッテリーを搭載したリモートスーパーバイザアダプタ II の廃棄(および交換)についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。
- ハードディスクドライブやバックアップデータカートリッジ、フロッピーディスク、その他書き込み可能なメディア(CD-R/CD-RWなど)に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されないようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分な配慮が必要です。



I/Oボード上にあるバッテリーが故障すると、POSTの画面上で以下のエラーコードが表示されます。お買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してバッテリーの交換を依頼してください。

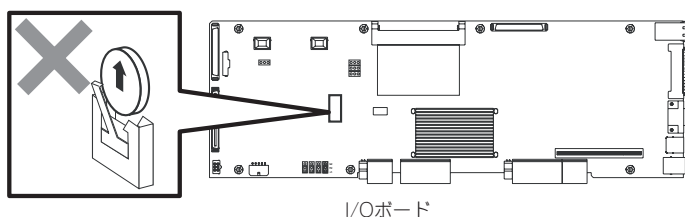
151、161、163



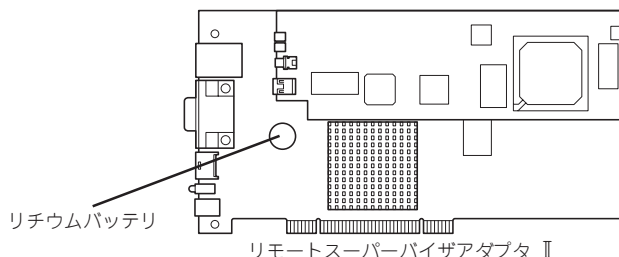
リチウムバッテリーやニッカドバッテリー、ニッケル水素バッテリーを取り外さない

本装置内部にはリチウムバッテリーが取り付けられています。リチウムバッテリーを取り外さないでください。リチウムバッテリーを火に近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、リチウムバッテリーの故障で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。



I/Oボード



リチウムバッテリー

リモートスーパーバイザアダプタ II

オプションのディスクアレイコントローラにもリチウムバッテリーやニッカドバッテリー、ニッケル水素バッテリーを使ったバッテリーが搭載されています。分別廃棄が必要な場合は、ディスクアレイコントローラを取り外した後、ボードからバッテリーを取り外してください。

バッテリーの位置についてはディスクアレイコントローラに添付の説明書を参照してください。

目次



使用上のご注意 - 必ずお読みください -	iii
安全にかかわる表示について	iii
本書および警告ラベルで使用する記号とその内容	iv
色分けされた部分についての取り扱い注意	iv
安全上のご注意	v
全般的な注意事項	v
ラックの設置・取り扱いに関する注意事項	vii
電源・電源コードに関する注意事項	viii
設置・移動・保管・接続に関する注意事項	ix
お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項	x
運用中の注意事項	xi
警告ラベルについて	xii
取り扱い上のご注意 - 装置を正しく動作させるために -	xiv
はじめに	xvii
本書について	xvii
本文中の記号について	xvii
本書の再購入について	xviii
本書の構成について	xviii
付属品の確認	xix
第三者への譲渡について	xx
消耗品について	xx
装置の廃棄について	xxi

1 知っておきたいこと

本装置の特長	2
サーバ管理	3
ストレージ管理	5
電源管理	7
ネットワーク管理	7
各部の名称と機能	8
装置前面(フロントベゼルを取り外した状態)	8
装置背面	10
リモートスーパーバイザアダプタ II (RSA II)	11
システム構成	12
センタプレーン	13
SMP拡張モジュール	14
PCI-Xボード	15
I/Oボード	16
システムの操作	17
電源のON	17
POST(電源ON自己試験)の概要	18
電源のOFF	19
スタンバイモード	19
リセット・BIOS設定値のクリア	19

導入にあたって	20
システム構築のポイント	20
運用方法の検討	20
稼動状況・障害の監視および保守	20
システムの構築・運用にあたっての留意点	21
出荷時の状態を確認しましょう	21
セットアップの手順を確認しましょう	21
各運用管理機能を利用するにあたって	23
お客様登録	24

2 設置と接続

設 置	26
ラックの設置	26
ラックへの取り付け/ラックからの取り外し	27
取り付け部品の確認	28
必要な工具	28
取り付け手順	29
取り外し手順	35
接 続	36

3 Windows Server 2003のセットアップ

セットアップを始める前に	40
ハードウェアのセットアップ	40
システムのセットアップ	41
カスタムインストールモデルのセットアップ	42
セットアップをはじめる前に - 購入時の状態について -	42
セットアップの手順	42
シームレスセットアップ	44
OSのインストールについて	45
本装置がサポートしているOSについて	45
BIOSの設定について	45
Windows Server 2003について	45
セットアップの流れ	47
セットアップの手順	48
ネットワークアダプタの二重化のセットアップ	54
二重化の設定	54
二重化の削除手順	55
オプションのネットワークボードのドライバ	55
PROSetのインストール/アンインストール	56
PROSetのインストール	56
PROSetのアンインストール	57
障害処理のためのセットアップ	58
メモリダンプ(デバッグ情報)の設定	58
ワトソン博士の設定	61
ネットワークモニタのインストール	62
管理ユーティリティのインストール	63
システムのアップデート	63

応用セットアップ	64
シームレスセットアップ未対応の大容量記憶装置コントローラを利用する場合	64
マニュアルセットアップ	65
論理ドライブが複数存在する場合の再セットアップ手順	66
再セットアップ手順	66
ドライブ文字の修正手順	66

4 Windows 2000のセットアップ

セットアップを始める前に	70
ハードウェアのセットアップ	70
システムのセットアップ	71
カスタムインストールモデルのセットアップ	72
セットアップをはじめる前に - 購入時の状態について -	72
セットアップの手順	72
シームレスセットアップ	74
OSのインストールについて	75
本装置がサポートしているOSについて	75
BIOSの設定について	75
Windows 2000について	75
セットアップの流れ	78
セットアップの手順	79
ネットワークアダプタの二重化のセットアップ	85
二重化の設定	85
二重化の削除手順	86
オプションのネットワークボードのドライバ	86
障害処理のためのセットアップ	87
メモリダンプ(デバッグ情報)の設定	87
ワトソン博士の設定	89
ネットワークモニタのインストール	90
管理ユーティリティのインストール	91
システムのアップデート - サービスパックの適用 -	91
応用セットアップ	93
シームレスセットアップ未対応の大容量記憶装置コントローラを利用する場合	93
マニュアルセットアップ	94
論理ドライブが複数存在する場合の再セットアップ手順	95
再セットアップ手順	95
ドライブ文字の修正手順	95

5 システムのコンフィグレーション

システムBIOS - BIOS Configuration/Setupユーティリティ -	98
起 動	99
画面の見方とキーの使い方	100
設定例	101
各メニューの説明	105
メインメニュー	105
System Summary	106
System Information	108
Devices and I/O Ports	111

Date and Time	113
System Security	114
Start Options	116
Advanced Setup	120
Error Logs	133
Save Settings	134
Restore Settings	134
Load Default Settings	134
Exit Setup	134
CMOSメモリ・パスワードのクリア	135
SCSIコンフィグレーション	137
ユーティリティの起動と設定変更	137
Boot Adapter List	138
Global Properties	139
Adapter Properties	140
設定した内容の保存	144
ユーティリティの終了	145
オプションボードのコントローラに対する設定	146
Remote Supervisor Adapter II (RSA II)	147
RSA IIの機能	147
RSA IIへのLAN/シリアルポートからの接続	148
RSA II LANポートへの接続	148
RSA IIシリアルポートへの接続	148
ASM Webインタフェースを開いての基本機能設定	149
システムステータス (System Status)	150
サーバの状況	150
温度	151
FAN	151
イベントログ (Event Log)	152
重要プロダクトデータ (Vital Product Data)	154
電源/再起動 (Power/Restart)	155
Server Power/Restart Activity	155
Server Power/Restart Control	156
リモート制御 (Remote Control)	157
シリアルリダイレクト (Serial Redirect)	158
PXEネットワークブート (PXE Network Boot)	158
ファームウェアの更新 (Firmware Update)	158
ASMのリモートアクセス (Access Remote ASM)	158
システム設定 (System Settings)	159
ASM Information	159
Server Timeouts	160
ASM Date and Time	161
ログインプロファイル (Login Profiles)	161
アラート (Alerts)	164
Remote Alert Recipients	164
Alert Forwarding	164
リモートアラート試行回数数の設定	164
リモートアラートの設定	165
リモートローカルイベントの設定	166
シリアルポート (Serial Port)	166
ポートアサインメント (Port Assignments)	167
ネットワークインタフェース (Network Interfaces)	168
Ethernet	168
PPP over Serial port 1	169

ネットワークプロトコル(Network Protocols)	170
SNMPを構成する	170
SMTPを構成する	172
LDAP Serverを構成する (Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) Client)	172
セキュリティ (Security)	173
構成ファイル (Configuration Files)	173
構成を復元する	173
構成を変更して復元	174
デフォルトの復元(Restore Defaults)	174
ASMの再起動(Restart ASM)	174
モニタ (Monitors)	175
ログオフ (Log Off)	175

6 EXPRESSBUILDER

添付のCD-ROMについて	178
EXPRESSBUILDER	179
起動メニューについて	179
EXPRESSBUILDER トップメニュー	180
起 動	180
シームレスセットアップ	181
ツールメニュー	181
マスターコントロールメニュー	184
ExpressPicnic	185
セットアップパラメータFDの作成	185
追加アプリケーションのインストール	187
オプションの大容量記憶装置ドライバのインストール	188
稼動機からの情報採取	189
大量インストール	190
ESMPRO	191
ESMPRO/ServerAgent (Windows版)	191
インストール前の準備	191
インストール	192
インストール後の確認	192
補足事項	193
ESMPRO/ServerManager	194
Power Console Plus	195
Power Console Plus(サーバ)	195
カスタムインストールモデルでのセットアップ	195
シームレスセットアップを使ったセットアップ	195
手動インストール(新規インストール)	195
Power Console Plus(管理PC)	198
Power Console Plus(管理PC)をインストールする前に	198
Power Console Plus(管理PC)のインストール手順	198
Power Console Plus(管理PC)の環境設定	199
エクスペレス通報サービス	200
カスタムインストールモデルでのセットアップ	200
セットアップに必要な契約	200
エクスペレス通報サービスを有効にする操作	201

手動インストール(新規インストール)	201
エクスプレス通報サービスのセットアップ環境	201
セットアップに必要な契約	202
PC通報連携機能	202
テープ監視ツール	203
カスタムインストールモデルでのセットアップ	203
手動インストール(新規インストール)	203
動作環境	203
監視対象装置	204
インストール手順	204
MWA - Management Workstation Application -	205
オフライン保守ユーティリティ	205
システム診断	205

7 メンテナンスとトラブルシューティング

日常の保守	208
アラートの確認	208
ステータスランプの確認	208
バックアップ	209
クリーニング	209
本体のクリーニング	209
キーボード/マウスのクリーニング	210
CDディスクのクリーニング	211
テープドライブのクリーニング	211
システム診断	212
EXPRESSBUILDERのシステム診断プログラム	212
システム診断の内容	212
システム診断の起動と終了	212
本体内蔵のシステム診断プログラム	215
診断プログラムの起動	215
テスト結果の確認	216
システムエラーログの確認	224
障害時の対処	225
障害箇所の切り分け	225
エラーメッセージ	226
POSTのエラーメッセージ	226
ランプによるエラーメッセージ	235
Light Path診断機構	235
BOARD LED点灯時の対処方法	238
SCSIエラーメッセージ	239
診断プログラムのエラーメッセージ	239
Windowsのエラーメッセージ	239
サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ	240
トラブルシューティング	241
本装置について	241
Windows Server 2003について	245
Windows Server 2003/Windows 2000について	246
EXPRESSBUILDERについて	249
シームレスセットアップについて	250

マスターコントロールメニューについて	253
ExpressPicnicについて	253
ディスクアレイについて	254
ESMPROについて	254
その他バンドルアプリケーションについて	254
障害情報の採取	255
イベントログの採取	255
構成情報の採取	256
ワトソン博士の診断情報の採取	256
メモリダンプ	257
システムの修復	258
修復手順 -Windows Server 2003-	258
修復手順 -Windows 2000-	258
リセット/強制電源OFF	262
移動と保管	263
ユーザーサポート	264
装置の保証について	264
バッテリーの保証について	264
修理に出される前に	265
修理に出される時は	265
保守用部品について	265
保守サービスについて	266
情報サービスについて	267

8 オプション

注意事項	270
安全上の注意	270
一般的な注意	270
静電気対策について	271
取り付け/取り外しの準備	272
取り付け/取り外しの手順	273
3.5インチハードディスクドライブ	273
取り付け	274
取り外し	276
トップカバー	278
PCIボード	279
ディスクアレイコントローラに関する注意事項	280
搭載可能スロット	281
ホットプラグに対応していないPCIボード	282
ホットプラグに対応しているPCIボードの取り付け・取り外し	284
SHIPPINGブラケット	297
取り外し	297
取り付け	297
SMP拡張モジュール(増設CPU/メモリバックボード)	298
取り外し	299
取り付け	301
DIMM	303
DIMMについて	303
メモリミラーリングについて	306
メモリスクラビングについて	306
メモリProteXionについて	307

取り付け	307
取り外し	308
メモリのHot AddおよびHot Replace	309
プロセッサ(CPU)	312
取り付け	313
取り外し	315
16-Wayアップグレードキット	317
ディスクアレイのためのケーブル接続	318
内蔵ディスクをディスクアレイ構成にする場合	318
DISK増設ユニットをディスクアレイ構成にする場合	321
付録A 仕様	323
付録B 保守サービス会社網一覧	324
索引	329

オンラインドキュメントについて

添付のEXPRESSBUILDER CD-ROMには次のオンラインドキュメントが収められています。必要に応じて参照してください。

- Microsoft Windows Server 2003 Enterprise Editionインストールサブリメントガイド*
- Microsoft Windows 2000 Advanced Serverインストールサブリメントガイド*
- ESMPRO/ServerAgent (Windows版) インストールガイド
- ESMPRO/ServerManagerインストールガイド
- エクスプレス通報サービスインストールガイド
- Power Console Plusユーザズガイド
- テープ監視ツールセットアップガイド
- 19インチラックユーザズガイド
- Express Server Management Guide

* OSをマニュアルセットアップでインストールするときに参照してください。通常はシームレスセットアップを使ってインストールすることをお勧めします。